

# トリックアート

## 1年生美術Ⅰ

平面に描いた絵が立体的に見えるような作品を作ってみましょう。最近では、ユーチューブでもトリックアートとしていろいろな作品が取り上げられています。

物が立体的に見える要素としては①光が当たり、明るい部分と影の部分ができることと、②近くの物は大きく見えて、遠くの物は小さく見えることがあげられます。今回の授業では、これらの要素を利用して立体的に浮き出て見える“文字”を描いてみます。前回の授業でスタリングをやったので、文字を使って制作してみます。

制作時間 計4時間

- 1時間目…動画視聴、アイデア、下描き
- 2時間目…下描き、影描写等
- 3時間目…描写、切り抜き
- 4時間目…切り抜き、微調整、ビデオ撮影

まずは、トリックアート#1、2の動画を見てください。参考動画では「サビエル」という文字を使って制作してみました。

## 制作手順

### 1 文字

- まずは、今回の制作のために、文字を考えます。4文字程度  
※複雑な漢字などは難しいかもしれません。

### 2 下描き

- B5～A4程度の大きさの紙(画用紙、ケント紙など少し厚めのものがあればよいですが、なければコピー紙などでかまいません。)
- 文字はゴシック体を利用すると描きやすいと思います。もちろん明朝体でもよいし、別のものでもかまいません。
- 文字を下描きするときに、完成したときの上の方になる部分を大きめに描くと、完成したときに立体的に見えやすいです。

### 3 文字の輪郭線、立体的に見せる部分の輪郭線の描画

- 文字の輪郭線を描くときに、直線部分は定規を使うと綺麗にできます。

#### 4 影の描写

- 光の向きを設定し（右上、または左上からの光を想定すると影が付けやすいです）影の部分に色を塗っていきます。鉛筆でかまいませんが、マーカーなどを使ってもよいです。色の明るさは3段階程度（明るい部分、少し暗い部分、暗い部分）とすると描きやすいです。
- 文字が宙に浮かんだ状態を作りたいので、床に落ちた影を描きます。光の向きに気をつけて、おおよその位置に影を描きます。床に描いた影は、ティッシュでこするなどしてぼかすとリアルに見えます。

#### 5 上部の切り取り

- 作画が終了したら、任意に水平線の位置を決め、上部を切り抜きます。  
※水平線の位置は文字とのバランスを見ながら、だいたい真ん中程度にします。  
※カッター、はさみ、どちらでも使いやすい方で作ってください。

#### 6 撮影

- 完成したら、作品を置き、iPadでビデオ撮影してください。  
※作品を台において、ななめの角度から撮影してください。少し移動しながら、より立体的に見える角度を探してください。  
※ビデオ撮影は10秒以内でお願いします。

#### 7 提出

- 毎時間の最後に制作途中を写真撮影してポートフォリオから提出してください。  
※最後の授業の後でビデオ撮影したものを提出してもらいます。その指示は、最後の授業のときに出します。

わからないことがあれば、授業中であれば、校内グループか学校に電話をしてください。